



学校だよりNo.29

令和3年10月19日(火)
泉崎村立泉崎中学校

白樺

発行責任者 校長 桑原透

泉崎中スローガン

- 1 明るく元気なあいさつ
- 2 健康・安全
- 3 「自他共栄」
- 4 「一歩改革」

目指す学校像

- 1 安全で安心して生活できる学校
- 2 生徒・教師が楽しめて「今日も来てよかったなあ」と思える学校
- 3 生徒が主体となって活動し、明るく活気のある学校
- 4 学校・保護者・地域が連携し、共に成長していく学校
- 5 保護者や地域から信頼される学校

白樺祭大成功!

PUZZLE ~193個のピース
で最高の白樺祭を成功させよう~

16日(土)に泉崎中学校文化祭「白樺祭」が行われました。昨年度はコロナ対応ということで、3年生や器楽部・特設合唱部の保護者のみの観客でしたが、今年はいれ替え制で全生徒の保護者の方を迎えることができました。生徒会や実行委員を中心として、この日のために頑張って準備や練習をしました。1・2年生は新人戦が終わってから短い時間の中だったので、どうなることかと思いましたが、素晴らしい発表でした。朝会等で文化祭に向けて「自他共栄」を意識してほしいという話を何度かしました。今日までいろいろな事があったと思いますが、その経験を「自他共栄」の精神を忘れず、今後の学級や学年の生活に活かしてほしいです。

「白樺祭校長あいさつ」より

本校の文化祭を「白樺祭と呼ぶのはどうしてなのか」毎年話していますが、今年も話したいと思います。本校は昭和36年に泉崎一中と二中が統合し、泉崎中学校になりました。新しい校章は、白樺の葉をデザインしてつくられました。白樺祭の名は学校の象徴でもある校章から来ているのです。旧校舎を卒業した方々からお聞きしたによると、実は旧校舎の敷地内に白樺の木が何本もあったそうです。白樺は「高山の寒さに耐える力強さや、幹の白さから清潔感を印象づける」ものです。

本校の掲揚塔のそばに白樺の木があります。また、校門近くには村内の方から寄贈して頂いたものがあります。今はこの2本しか校地内にはありませんが、白樺の木が校章同様、本校の伝統的な象徴であることは間違いのないようです。また、自然界のシラカバは、山火事や山崩れなどの跡地に真っ先に生え、成長もかなり早いと言われていて、つまり再生や改革や躍進を意味する木でもあるようです。

そんな白樺祭、今年で61回目を迎えます。「PUZZLE~193個のピースで最高の白樺祭を成功させよう~」がテーマです。全校生徒の人数が193人なので、193個のピースになっていますが、ここに教職員28人も加えてください。生徒と先生・職員の力を合わせた白樺祭です。193と28で221個のピースです。この泉崎中学校生徒・職員全員で成功させる白樺祭。自分も仲間も共に栄えることができる「自他共栄」の精神を実現する白樺祭になることを期待し、校長の挨拶といたします。

合唱コンクール表彰

最優秀賞	3年2組				
優秀賞	3年1組	1年1組	奨励賞	2年1組	
指揮者賞	3年1組	高松 悠稀	伴奏者賞	2年2組	木野内和奏



特集 『発達障害 ⑪』

【No.10 理解のポイント①-1 独特の「発達スタイル」で発達していく】

発達障害の子には、得意な領域と苦手な領域が色濃く存在します。子どもの得意と苦手を具体的に知ることが、理解の第一歩となります。

例えば、「視覚的に学ぶのが得意」「聞いて学ぶのが苦手」と具体的に理解できれば、タブレット機器で写真を示すという対応を検討できる。

得意な事の例

ASD：興味を追求する、計画的に活動する、視覚的に学ぶ

ADHD：好奇心を発揮する、新しいアイデアを出す

LD：得意な学び方がある

苦手な事の例

ASD：人の気持ちを想像する、興味のないことにとりくむ

ADHD：姿勢よく座っている、事務作業を完璧にこなす

LD：苦手な学び方がある

